



2月の野菜研

あおもりの未来
技術でサポート

令和2年2月28日
地方独立行政法人青森県産業技術センター 野菜研究所

令和2年最初の月、2月に研究所内で行った作業等について簡単に紹介します。

令和元年度研究成果発表会の開催中止

本年度の研究成果を一般、関係機関の方々に発表する研究成果発表会を令和年2月28日(金)に予定していましたが、当日の朝に急遽開催を中止としました。国内で新型コロナウイルスの感染が拡大しており、前日夜には安倍首相から全国一律で小中高校の休校の要請が報道されたことを受けて、多数の参加者がある発表会を開催することで感染リスクが高まると判断されたため、大変残念ではありますが中止を決断しました。事前に参加を申し込みしていただいた方は83名ありました。そこで、成果の内容の周知を図るため、発表会で配付を予定していた資料を参加を申し込んでいた方に後日送付しました。

発表会で発表する予定だった課題は、以下の6課題です。

- 1 イモグサレセンチュウ被害ニンニクにおける地上部への寄生状況
- 2 チューリップサビダニのニンニク茎葉での発生推移とモベントフロアブルによる防除法
- 3 県内で初めて確認されたカボチャ果実斑点細菌病の特徴と防除対策
- 4 夏秋トマト及びハウスニンニク栽培へのICT利用型養液土耕制御システム「ゼロアグリ」の導入効果
- 5 大型コンテナを利用したニンニクのテンパリング乾燥法
- 6 ニンニクの球割れ等の発生要因と対策

指導参考資料に提出された課題は、以下の青森産技及び県のアドレスで見ることができます。

青森産技HPアドレス: https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/nourin_yasai/seika/seika.html

県HPアドレス : <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/nosui/hukyuugijutu.html>

ナガイモ育成系統検討会

令和2年2月12日に、本年度当研究所で行った育成系統の現地試験の検討会を開催しました。現地試験担当者を始め、関係機関、県等の担当者35名の参加がありました。現地試験は7か所で、各現地の収量、品質を取りまとめたデータを確認するとともに、各現地で生産されたナガイモを試験区ごとに並べ、対象品種と比較していただきました。ナガイモの太さ、長さ、平いも、曲り、こぶの発生等についてや生育状況から栽培管理方法について等の意見交換をすることができました。



連絡先: 野菜研究所

Tel 0176-53-7171 Fax 0176-53-8934
Email nou_yasai@aomori-itc.or.jp

ナガイモ原原種ハウス 新築等工事

ナガイモの原原種(むかご)生産用の大型ガラスハウスの新築、工事が10月から始まり、5か月が経過し、ほぼ完成となりました。

屋根には全面ガラスが設置され、側面にはポリエチレンフィルムが張られました。ハウス周囲の側溝の工事も終わりました。3月は配線工事、ハウス内の用土、外部の土の整地を行い、3月13日には計画どおり工事が完了する予定です。



新築工事: 令和2年2月28日撮影